



学びのエンジンを稼働させよう！——2学期に向けて、課外ならではの学びの数々。

8/20(木) 大学の先生が来校。1・2年生対象に「出前講義」を開催しました。

鹿児島国際大学の山川仁子先生、松尾弘徳先生による講座でした。

山川先生：コロコロとゴロゴロ、トントンとドンドン。ドラゴンから濁音を取るとトラコン、他にもキンクキトラとかカンタムとか……濁点(゛)、半濁点(゜)がつけられる言葉には角張った強さ、つけられない言葉には丸っこい柔らかさがあるということを知りました。

松尾先生：山口百恵の「いい日旅立ち」のサビ部分「あー日本のどこか()私を待ってる人がいる」……()の中に入るのは「で」ではなく、「に」になるのはなぜなのか？普段から何気なく使っている「格助詞」について考える機会となりました。学生さんのフォローをもらいながら謎解きにも挑戦。最後に、先生は、アインシュタインの遺した言葉を引用して、大学で学が意義を次のように伝えてくださいました。

The more I learn, the more I realize I don't know.

The more I realize I don't know, the more I want to learn.

(学べば学ぶほど、さらに自分が無知であることを知る。

自分が無知であることを知れば知るほど、もっと学びたくなる。)

8/21(金) 1・2年生9名が「高齢者向けスマホ教室」ボランティアスタッフを務めました。



午後に来校した受講者20人に対して、生徒たちがスマホの操作方法をレクチャーしました。この企画は、いちき串木野市役所DX推進係からの提案を受けて実現しました。業者の方が中心となって講座は進められましたが、左写真にあるように、対面で直接受講者に教えるのは串高生たちです。

日頃からスマホを使い慣れていても、人に教えるとなれば勝手が違います。事前に「スマホ講師養成講座」を受講し、本番を迎えた生徒たちは、高齢者に丁寧に対応。終始和やかな雰囲気、受講者から好評でした。生徒たちは達成感を得ることができたことでしょう。みんないい笑顔でした!!この企画は、2学期にも行われる予定です。



8/25(火) 1年生対象新企画「串木野学」探究バスツアー

地域を「知る」ことが串木野学の入門期には大切です。当日は観光物産センターの竹原勇輝さん(たけどん)のガイドにより、伝兵衛蔵、地元商店街、漁協を訪問。見学や施設の方の説明を聴きました。生徒たちは探究活動において、現地に足を運ぶ重要性が分かったことでしょう。また、海鮮まぐろ家では「まぐろ丼」のふるまいも。27日(金)には、知識の深まり、視野を広がりの成果をまとめた、ミニ発表会をしました。

インスタもご覧ください。串木野高校頑張っています(文責 立森)